

FILM1/30

号外 JAniCA 特集

JAniCA前代表理事、芦田豊雄氏に聞く、退任の真相

先を争って報酬を得ようとするのは間違っている。

-----本日はお出で頂きありがとうございます。JAniCAについて現在いろいろな噂がとびかっ

芦田 まず現在の執行部(理事会)と僕たち(創立メンバー)との考えが基本的なところでは無いところがある。それが問題の根本ではないかと考えています。これを検証することで、その結果、JAniCAを正常に戻すのか。それとも、JAniCAはもういいやと、次の方向へ進んでいくのか。

それはまたその先の話でいいと思うのです。

-----僕がJAniCAの発起人になったのも、芦田さんがわざわざ来社されて、お話し下さったことに大きく賛同したからです。僕の知る限り、日本のアニメーションの業界というものは、性善説に則っていくというのが大前提だと信じています。それが崩れてしまったら、大変なことで。今回の事件はそうなっていくんじゃないかと心配なわけです。改めて、JAniCAの設立の経緯を教えてください。

芦田 2006年8月、狭山市で金山明博さんの絵画展がありました。そこで金山さんを囲んで、彼の友達や虫プロ時代のみんがが集まって業界の功労者である金山さんを囲む会をやれないかっていうのが、このはじまりなんですよ。そこには、(旧JAniCA理事の)Kさんもいました。

最も基本的な認識として、日本のアニメーションは今でこそ世界で評価されて、たくさんファンがついています。これからもそれが続いていくとするならば、一番大切なものは決して"お金"じゃないと僕は思うのです。

これは自分を含めての事ですが、「お金より、自分の好きな仕事を一生懸命やっていたら楽しい」→「自分が満足できることが一番」、そういう気持ちが日本のアニメーションを形作ってきたと思う。それがまず最初にないと、日本のアニメーションは今後うまくいかないだろう。

今のJAniCAのメンバーに「やっぱり金でしょう!」と発言した者がいる。たしかに金がなければJAniCAは運営できない。

だけどJAniCAがお金を得るような仕事をやったとしても、メンバーまたは本人が関わる会社などが利益を得るのは最後の最後だろう。それがメンバーの中心が先頭をきって、アニメ業界としては高額な収入を得ようとするなら、それは間違っている。

JAniCAの基本はやはりボランティア。この状況の中でJAniCAを利用する事により、生計を副収入を得ようとするならあまりに悲しい。

JAniCAに関わり「金にならない」と感じたならば「早々に手を引いてもらって結構」、これは暗黙の了解だったはず。

JAniCAに関わっても手にする収入は実費+α。これが基本です。

私の印象としてのJAniCAはけっこう汚れちゃって、自分が中心にいただけに、そこに戻りたくないって気持ちはあるんです。これは今ではなく今後の問題なのかもしれないけど。

-----今のお話はよく分かります。ようするに、中抜きされてばかりいるから、僕らは苦勞しているんですね。それなのに、仲間だと思っていた人たちが中抜きをする側にまわるのであれば問題だと思います。制作する人も管理する人も

